

やってみなきゃ、

新技術・ビジネスモデルの
社会実装を目指す皆様へ朗報です！



規制のサンドボックス制度
のススメ

はじまらない！！

まずはお気軽に
ご相談ください！



新技術・ビジネスモデルの社会実装のためには、
“まずやってみる”ことが重要

規制のサンドボックス制度とは

子どもが砂場（サンドボックス）で自由に遊ぶように、社会の中で一定の仕切られた環境を作り、その中で新技術・ビジネスモデルに関する様々な実証を行い、実証で得られた情報・資料を活用して、円滑な事業化・規制改革等の社会実装を推進します。

なお、内閣官房は、実証を行おうとする事業者の提案を広く一元的に受け付ける窓口としての役割を担っています。

規制に困ったら、まずはお気軽にご相談ください。

制度の詳細・認定案件はこちら



<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/s-portal/regulatorysandbox.html>

特長

- モビリティ（電動キックボード等）、Fintech（ブロックチェーン、P2P保険等）、ヘルスケア（オンライン診療、OTC販売機、移動薬局等）をはじめ、あらゆる分野で本制度の利用が可能です。



電動キックボード



オンライン診療

- 実証計画の作成・申請に当たっては、内閣官房がハンズオンで支援します。

実績

31計画

(2023年12月時点)

150社認定！

法改正にも
つながった！



※道路交通法（電動キックボード）

※産業競争力強化法（ショートメッセージサービス）

実証までの流れ

STEP 1



相談
(内閣官房
一元窓口)

STEP 2



申請

STEP 3

OK

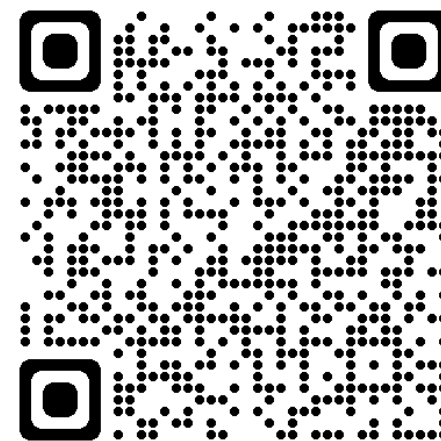
評価
委員会

STEP 4



認定/
実証

問い合わせ先（内閣官房）



https://www.cas.go.jp/forms_regulatorysandbox.html